

9月がつひかりごう

令和元年9月1日 輝保育園

急に涼しくなり、季節の移り変わりを感じます。今年はプール遊びを実施できない日が多くたのですが、着替えに取り組む姿、次の行動への見通しなど、意欲の高まりが生活の中に表れてきました。子ども達の姿を認め、翌月への運動会へと繋げていきます。戸外での活動も増えていきますので、お家ではゆっくりと過ごしましょう。

【防災の日】

9月1日は、関東大震災が起った日にちなみ「防災の日」となっています。

近年、各地で災害が続いています。台風、地震などの災害について知り、対応を考えたり、話合ったりしてみましょう。

避難場所や避難経路を確認したり、避難に必要なものをそろえたりしておくことが大切です。

★敬老の日★

昭和41年に制定された国民の休日で、現在は第三月曜日とされています。

日頃お世話になっている、おじいちゃん、おばあちゃんに感謝の気持ちを伝えるのに、とても良い機会です。



= 9月の行事予定 =

5日（木）避難訓練

18日（水）紅葉園慰問
(4、5才児)

20日（金）身体測定、お誕生会



== ナース・レポート ==

★自然災害と、急病や事故。

いつ、ダレノ身に起るか分からず、とっさの対応が命を守るという点が共通しています。

9月1日は「防災の日」、9日は「救急の日」です。

防災の日である9月1日は1923年の関東大震災が起きた日です。

災害への認識を含め、心構えを持つことを目標として1960年に制定され、毎年各地で防災訓練などが行われています。

地震だけでなく、近年は記録的な豪雨での水害など、大きな被害をもたらす災害が起こっています。

防災グッズは準備していますか？

普段の生活から、何がどれ位必要か考えてみましょう。

また、子どもを連れて、実際に持てる量なのか確認してみましょう。

災害が起った場合の連絡方法や、待ち合わせ場所、誰が子どもを迎えるかなどを決めておきましょう。

自分自身、そして大切な人の命を守るために、この二つの「日」を「その時、自分はどう行動するか」、「どう備えるか」について、考えてほしいと思います。

《《《 お願い 》》》

- クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
- 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
- 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっているか、もう一度確認をして下さい。
- 夜更かしをさせず、早寝・早起きをし、しっかり朝食を摂りましょう。
- 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 親離れ・小離れ ☆☆

~ 依存と自立 ① ~

ちょっと前まで、親が手を貸さないと何もできない、幼い子どもだったはずなのに、いつの間にか、「こんなこともできるようになったんだ」、「こんなことを考えるようにになったんだ」と驚かされたことはありませんか。

子どもの成長は早いものです。

子どもの健やかな成長、自立を願わない親はないはず。

今回は、「子どもの親離れ」、「親の子離れ」をテーマに、一緒に考えていきましょう。

■ 依存から自立へ

「自立」とは、他の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うこと、「依存」とは、他に頼って存在、生活することといわれます。

一見反対語のように捉えられますが、対立するものではなく、お互いが密接に関係しているものです。

心理的に自立している子どもは、親から厳しく育てられて自立しただけでなく、放任によって育てられたから自立したのかもしれません。

成長する過程において、親への依存を体験し、親からの愛情をしっかりと確信できるからこそ、自立へのステップを歩むことができるといわれています。

子どもを自立した大人に育てていくために、依存することを十分、体験させ、親子の信頼関係を築くことが、とても大切です

「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

たんぽぽぐみ

0才児



8月に入り天気の良い日は念願のプール、水遊びをしました。部屋の前に水を張ったプールや桶を準備すると声を上げ大喜びをする子どもたち。また、別の子はプールの水が太陽に反射し部屋の天井に映し出され揺れる陰に「あれは何だろう」と不思議そうな表情を浮かべ保育士を見ていました。様々な表情、発見がありました。園庭に出るとすぐにプール遊び用の玩具に手を伸ばし、じょうろで水を汲み、汲んだ水をプールに戻したり、手で水しぶきを上げ声を出して楽しみました。水に恐怖心を感じる子は少なく、顔に水しぶきがかからても全く動じず、夏の遊びを満喫できました。部屋に上がる時には「まだ遊びたい」と逃げ出す子もいる程に楽しむことが出来ました。この夏で少し焼けた肌が頬もしくみえ、また一つ成長を感じました。

たんぽぽぐみ

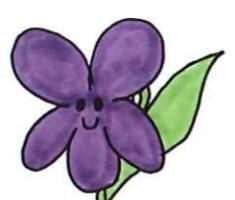
1才児



7、8月は水遊び、プール遊びを楽しみました。例年より遊べる回数は少ない年でしたが、出来る日は思いっきり楽しみました。最初は、着替えるのも嫌がっていた子が、保育者が準備する姿を見て、自分から服を脱ぎますようになったり、いろんな姿が見られました。日に日にダイナミックに遊ぶようになり、ワニ歩きしたり、自分で頭や顔に水を掛けたりして楽しんでいます。2才になった子やもうすぐ2才になる子は、着替えなどを積極的におこなっています。園では自分でやってみようとしている時は、見守り、どうしてもうまくいかない時に、一緒に行なながら、やり方を知らせるようにしています。自分でやってみようという気持ちが出てきた時が、伸びるときです。家庭でも、見守ったり、一緒にやってみたりされてみてください。

すみれぐみ

2才児



大好きな水遊びの準備を通して、着脱がずいぶん出来るようになりました。子ども達も、自分で出来ることが嬉しい、「先生、見て！」と知らせてくれます。この経験が自信につながったようで、食後や、排せつの際の着脱も意欲的に取り組む姿が見られます。ご家庭でも、自分で出来た喜びを積み重ねることで、「やってみよう！」という気持ちを引き出し、自身と意欲につなげてください。また、生活の中で友だちや保育士との言葉のやり取りを楽しんでいます。悲しい気持ちや、嬉しい気持ちと、様々な自分の思いを言葉にして伝えることも上手になってきました。自分の思いが、相手に伝わる喜びを感じる一方で、うまく伝わらなくて、どかしさから、手が出てしまうこともあります。言葉での伝え方を知らせてていき、友だとの関りがより楽しく感じられるようにしていきます。

ちゅうりっぷぐみ

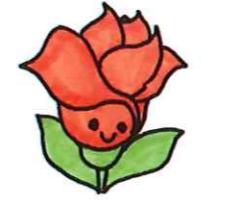
3才児



プール活動では、顔つけの練習を行っています。手の平にすくった水の中に口をつけブクブクと息を吐き、顔を上げた瞬間「パッ！」と吐ききることがポイントです。始めは、水が顔にかかる不安や鼻や口に水が入る怖さを感じ、緊張している姿が多く見かけましたが、練習を繰り返す中で、コツを掴み始めています。自分の進歩は、誰よりもその子自身が強く感じており「できた！」と喜ぶ瞬間は、心にも自信が芽生えています。苦手なことにも挑戦する前向きな気持ちや、できるようになった自分への手ごたえなど心の成長を大切にしていきます。遊びの時間では、体全体を使ってダイナミックに遊ぶ子や、プールの隅で水の感触を楽しむ子など、水への関わり方はさまざまですが、プール終了後は「楽しかった！」、「またしたいね！」という気持ちが言葉や表情に溢れています。

ばらぐみ

4才児



現在、お箸を持つ練習を頑張っています。食材を集めることが難しい子は、スプーンを併用して進めていますが「お箸で全部食べれた！」と先日嬉しそうな声が聞かれました。「凄いね、お箸で全部食べれたね」という喜びの共感と、周りからの憧れの眼差しに、本児も「ママにも言っとく！お家でもお箸で食べよう」と誇らしげな表情です。一方、お箸の持ち方が難しく億劫になっている子もいます。しかし、お箸の練習の遊びには積極的です。持ちたいという気持ちを、遊びの中で育みながら頑張っていきたいと思います。「今日は一つ掴めた、明日は二つ」と、お箸を持つ時間を増やしながら成功体験を積み重ねていきます。いよいよ運動会に向けての取り組みが始まります。ばら組では、一つの目的に向かって友達と一緒に取り組むことを目標に頑張っています。

ひまわりぐみ

5才児



8月はプール活動も户外遊びもする機会が少なく、子どもたちにとっては物足りない様子でした。しかし、プール活動では少しでも長く泳ごうと手と足をしっかりと伸ばして泳いだり、苦手で泳ごうとせずに泣いていた子が保育士の手伝いなく水に顔を漬けて泳ごうとしてみたりと成長を感じることができました。お互いに「すごい」、「上手」、「頑張れ」などと声を掛け合い、認め合うことが子ども達の自信や頑張る力になっています。また4才児と過ごすことが多く、年下の子に教えたり励ましたりする思いやりのある姿がよく見られます。これから運動会に向けた活動が本格的に始まります。子ども達の吸收の速さに驚くばかりです。休息、水分補給などに十分気をつけながらこれまでの経験で高まった挑戦意欲や互いを思いやる気持ちを大切に取り組んでいきます。

こ
ど
も
の
よ
う
す